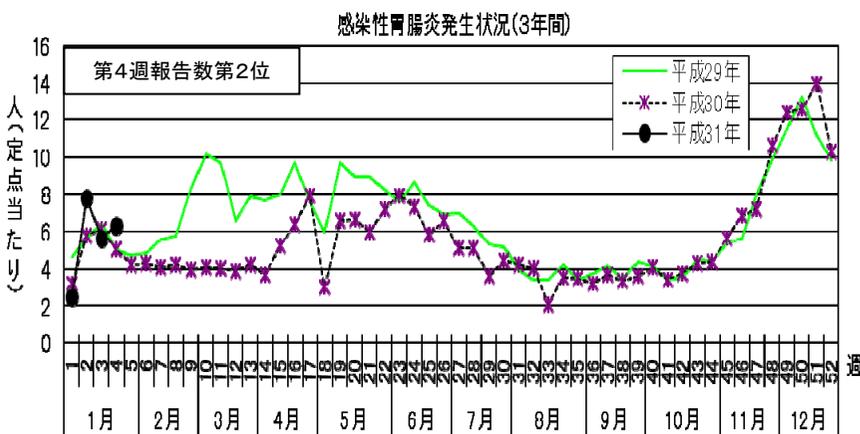
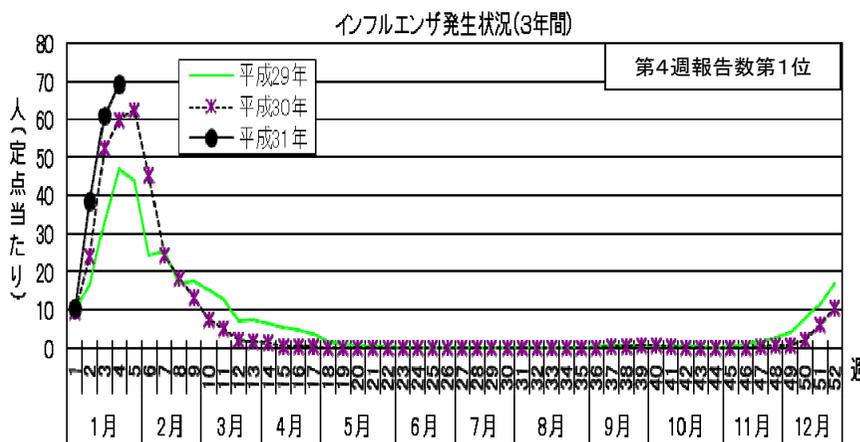


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

平成31年1月21日（月）～平成31年1月27日（日）〔平成31年第4週〕の感染症発生状況

第4週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。
 インフルエンザの定点当たり患者報告数は69.41人と前週（61.00人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。
 感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.30人と前週（5.65人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。
 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は2.24人と前週（2.27人）から横ばいで、例年並みのレベルで推移しています。



インフルエンザの患者報告数が過去最多に！

川崎市では、平成31年第4週（1月21日～1月27日）の定点当たり患者報告数が69.41人となり、現在の調査方法となった平成11年以降、過去最多の報告数となりました。

インフルエンザによる入院患者の定点当たり患者報告数も、小児と高齢者を中心に過去5年間平均と比べてかなり多くなっており、今週は10歳未満が約6割を占めていました。

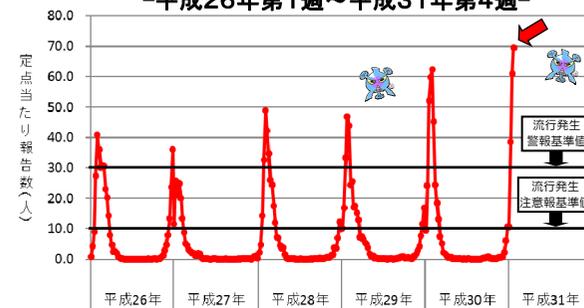
今シーズンは複数の亜型※が同時に流行しており、重複して感染したり、2回感染する例もありますので、一度罹患した場合でも注意が必要です。

※ AH1 pdm09型、A香港型等



特に小さいお子さんや高齢の方は重症化しやすいので、体調の変化に十分気をつけましょう。

川崎市におけるインフルエンザ発生状況
-平成26年第1週～平成31年第4週-



川崎市内基幹定点病院においてインフルエンザで入院した患者の定点当たり報告数

